

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	土木課	室・部・局	基盤整備部	予算事業コード	129510
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	防犯灯管理奨励金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
	②支出の根拠 関市防犯灯管理奨励金交付要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)
	③支出先 防犯灯を管理する自治組織					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
						(5)個人に対する補助金・負担金
	○なし					○(6)その他
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	防犯灯を管理する自治組織			に対して	
	手段	維持管理費用の一部助成			を行うことで	
	受益者	防犯灯を管理する自治組織			が(を)	
	意図	市内の防犯灯の確保を図り、もって夜間における犯罪を防止し、及び公衆の通行の安全を図る			という状態にする	
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日			補助・負担開始年度	平成30年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体		○その他(非該当)	
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,147	1,178	1,173	1,300	○単価を定めている→算式	自治組織が管理する防犯灯の数×300円
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	○決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適切か	○ 適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	○ なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	○ 把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	○ 適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	○ 達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	○ 向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	○ 継続すべき

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	助成継続期間の設定		

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	土木課	室・部・局	基盤整備部	予算事業コード	130800
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	雨水貯留施設設置助成金				補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠 関市雨水貯留施設設置助成金交付金要綱					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
						(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先 雨水貯留施設を設置する(申請者)					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						○(5)個人に対する補助金・負担金	
	④国・県の負担					○なし	国の負担あり 負担割合
県負担あり 負担割合					負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	雨水貯留施設を設置する者(申請者)			に対して		
	手段	雨水貯留施設の設置費用の助成			を行うことで		
	受益者	雨水貯留施設を設置する者(申請者)			が(を)		
	意図	設置費用の負担を軽減させることにより、降雨時における雨水の流出を抑制し、河川の増水防止を図る			という状態にする		
⑥期間	R 4 年 4 月 1 日 ~ R 5 年 3 月 31 日	補助・負担開始年度	平成 21 年度				
⑦事務局体制	主に市の担当課	主に支出先団体	○その他(非該当)				
⑧構成員の負担	負担なし	負担あり	負担額	あたり	円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	○補助・負担率を定めている→補助率	経費の1/2以内(限度あり)ほか
	99	20	63	200	単価を定めている→算式	
	定額補助・負担		その他()			
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合	%	○決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	周知不足の為、今後も広報等で周知を図りたい
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	継続すべき

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	事業促進の為、市民や事業者へ広報・HP等を利用し積極的に周知を図っていく。		